

(12) 大気汚染（粉じん等）

1) 調查目的

撤去工実施区間に直近の集落である荒瀬集落において、工実施前の粉じん等の発生状況を把握することを目的とする。

2) 調査時期・頻度

出水後に工事が実施されることを考慮し、平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月に調査を実施する。

3) 調査方法

デポジットゲージを設置し、降下ばいじん量を採取する。1 月ごとに試料を採取し、固形物総量を測定し、降下ばいじん量を算出する。

5) 調査結果

平成 24 年 11 月以降の降下ばいじん量 $2.10 \sim 7.09 \text{ t/km}^2/\text{月}$ であり、参考基準（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成 11 年 建設省都市局）の $10 \text{ t/km}^2/\text{月}$ ）を下回るものであった。

表 1 粉じん調査結果（平成 24 年度）

項目		11月	12月	1月	2月	3月
pH		6.4	5.0	5.0	5.3	6.4
水不溶性物質	mg	91.40	231.60	110.30	122.00	237.4
水溶性物質	mg	66.89	353.34	59.94	137.95	130.32
固形物総量	mg	158.29	584.94	170.24	259.95	367.72
ロート径	cm	30	30	30	30	30
降下ばいじん量	(t/km2/期間)	2.24	8.28	2.41	3.68	5.20
採取期間	開始日	11月1日	12月3日	1月7日	2月1日	2月28日
	採取日	12月3日	1月7日	2月1日	2月28日	3月29日
採取日数	日	32	35	25	27	29
降下ばいじん量	(t/km2/月)	2.10	7.09	2.89	4.09	5.38
※ 参考値	(t/km2/月)	10				

※参考値：10t/km²/月（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成11年 建設省都市局監修））

4) 調査地点

基本的には工事前の昨年度調査地点と同じ地点で調査を実施する。すなわち、工事区域と荒瀬集落の間に位置する場所とし、荒瀬ダム下流の企業局用地内にデポジットゲージを設置する。

